



# 戦後日本におけるフランス文学受容と その社会的インパクト 鈴木道彦の足跡をとおして

(立教大学文学部文学科フランス文学専修主催、日本サルトル学会・日本プルースト研究会共催)

◆日時：2025年7月13日（日）13:00 - 18:30◆

◆場所：立教大学池袋キャンパス 7101教室およびZoom

(入場無料、Zoom視聴には事前登録をお願いします)

13:00 開会の辞：澤田直（立教大学名誉教授）

13:10~14:00 基調講演

海老坂武（フランス文学者）、吉川一義（京都大学名誉教授）

14:00~15:30 第1部「プルースト、サルトル、第三世界」

司会：坂本浩也（立教大学）

発表：中野知律（一橋大学名誉教授）、竹本研史（法政大学）、

中村隆之（早稲田大学）

15:30~16:00 休憩

16:00~18:00 第2部「戦後の世界および日本とフランス文学」

司会：生方淳子（国土舘大学）

発表：合田正人（明治大学）、鶴飼哲（一橋大学名誉教授）、

永野潤（東京都立大学）、小林成彬（國學院大学）、

澤田直（立教大学名誉教授）

18:00~18:30 全体討議

18:30 閉会

19:00~21:00 懇親会（予約制、参加費6000円、学生3000円）

プログラムの詳細は日本サルトル学会のHPをご覧ください

 <https://sites.google.com/view/ajes1905>



ZOOM  
参加用



懇親会  
参加用

